

馬込 文士村 散策マップ

「昭和文学の宝庫」九十九谷と呼ばれる坂の多い町・馬込。
歩いて、学んで、味わいませんか？



シクラメン栽培が盛ん



- ◎ 「馬込文士村散策のみち」MAP
 - 総案内板
 - 文士の解説板
 - メインコース (約6.5km)
 - サブコース (約9.0km)
 - 郷土博物館周辺のおすすめコース
 - 史跡や旧跡 ● 公共施設 WC トイレ
 - バス停 ● 駐車場
 - マップの協賛店 (社)
- 散策の際は住民の方に迷惑とならないよう注意しましょう

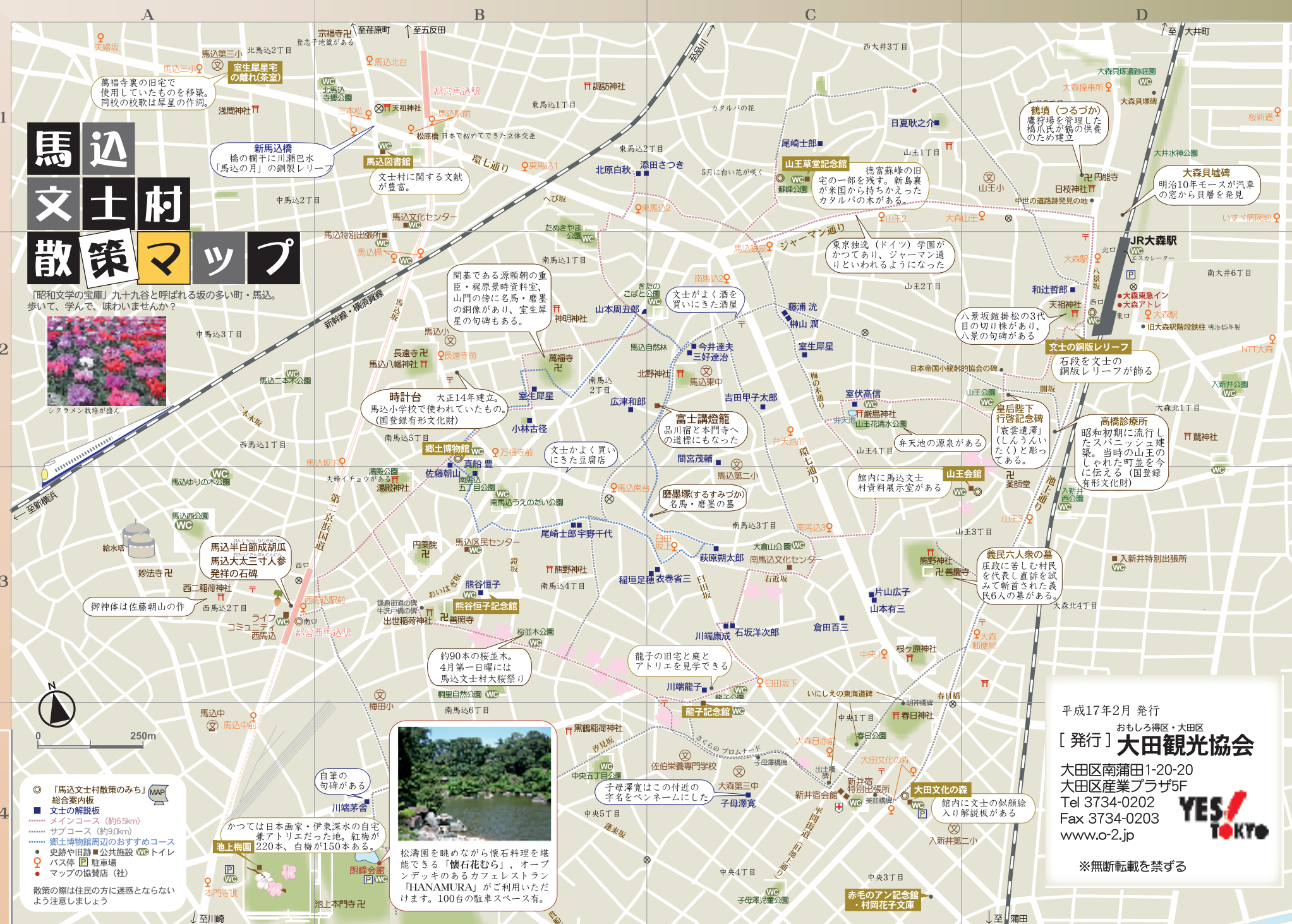


松清園を眺めながら懐石料理を堪能できる「榎石花むら」、オープンデッキのあるカフェレストラン「HANAMURA」がご利用いただけます。100台の駐車スペース有。

平成17年2月発行
おもしろ得区・大田区
[発行] **大田観光協会**
大田区南蒲田1-20-20
大田区産業プラザ5F
Tel 3734-0202
Fax 3734-0203
www.o-2.jp

YES!
TOKYO

※無断転載を禁ずる



萬福寺裏の旧宅で使用していたものを移築。同校の校歌は星屋の作詞。

新馬込橋
橋の欄干に川瀬巴水「馬込の月」の銅製レリーフ

文士村に関する文献が豊富。

開基である源頼朝の重臣・梶原景時資料室、山門の傍に名馬・磨墨の銅像があり、室生屋星の句碑もある。

時計台 大正14年建立。馬込小学校で使われていたもの。(国登録有形文化財)

文士がよく買ってきた豆腐店

磨墨塚(すずみづか) 名馬・磨墨の墓

龍子の旧宅と庭とアトリエを見学できる

鶴墳(つるづか)
鷹狩場を管理した橋爪氏が鶴の供養のため建立

大森貝塚
明治10年モースが汽車の窓から貝層を発見

東京独逸(ドイツ)学園がかつてあり、ジャーマン通りといわれるようになった

文士の銅版レリーフ
石段を文士の銅版レリーフが飾る

高橋診療所
昭和初期に流行したスパニッシュ建築。当時の山王のしゃれた町並を今に伝える(国登録有形文化財)

義民六人衆の墓 庄政に苦しむ村民を代表し直訴を試みて斬首された義民6人の墓がある。